学校関係者評価委員会報告書

2023年7月10日

旭川情報ビジネス専門学校

2023年度　学校関係者評価委員会

1. 開催日時
   2023年7月10日(月)　12時00分～13時00分、

2. 旭川情報ビジネス専門学校　2階　校長室

3. 出席者
   ＜学校関係者評価委員＞
   本田　和行　委員（株式会社冨貴堂ユーザック　代表取締役社長）
   水野　　峻　委員（株式会社UZUZ　旭川事業部長）

   ＜事務局＞
   校長　　難波　繁之

4. 議事

   1）開会
   2）校長挨拶
   3）委員の紹介
   4）学校関係者評価委員委嘱
   5）経緯説明、意見交換
   6）閉会

2022年度旭川情報ビジネス専門学校関係者評価

1. 学校の教育目標

＜教育目標＞情報処理のスペシャリストとして即戦力となりうる人材を育成する。
豊かな人間性と知的な教養ある人材を育成する。

＜基本方針＞具体的な方策
1. 必要な専門知識技術の習得を徹底させ、情報化社会を推進する実力をみにつけさせる。
2. 習得した技術を生かし、社会の発展・充実に貢献できるよう努める

2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

1. 就職率100％
2. 地域社会との密接な連携をし、積極的に社会貢献に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況集計結果 （適切:4、ほぼ適切:3、やや適切:2、不適切:1とし、平均値を記載）

（1） 建学の趣旨と教育の方針(教育理念・目標)

評価項目	関係者評価
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められている。	3.5
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いている。	3.0
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されている。	3.0

課題や改善点

・情報処理のスペシャリストを育成するという点について一定の評価ができると思いますが、昨今の科学技術の進歩など社会情勢が大きく変容していく中、地域産業界をはじめとした各企業の要請に応え続けるためには、より一層貴校の魅力向上を図り、存在価値を高めるための検討が必要であると思います。そのためには、地域産業界との連携（IT 企業を含めた各企業が現在どのような仕事を行っているかを知る）事業が必要であると考えます。これには学生のみではなく、教員が連携事業の講師を務めるなど積極的な関りも必要であると感じます。また地域課題を解決しながら地域ニーズに対応した授業の推進が可能であれば、地域貢献という面からも貴校の魅力向上に資することができると思います。単なる会社訪問に終始するインターンシップではなく地域産業界との関りを深める内容、小中学校と連携したプログラミング教育の協力も考えられると思います。教育目標は学生・保護者等に周知されているかについては、SNS などを活用し保護者を対象に積極的に情報発信するアプリなど用意してどうでしょうか。ホームページも良いですがスマートフォンなどで身近に確認できる手段がよいと考えます。イベント、コンテスト、など学生が活動している姿が見えるツールがあればと感じます。

(2) 学校経営方針(学校運営)

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されている	3.7	3.5
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能している。	3.0	2.5
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されている。	3.3	3.0
・教育活動等に関する情報公開が適切になされている。	2.7	2.5

課題や改善点

(3) 教育活動(各学年指導計画)

評価項目	自己評価	関係者評価
・カリキュラム(実習等を含む)は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されている。	3.7	3.5
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されている。	3.7	3.5
・教育の方針(人材育成)達成に向けた授業担当教員を確保している。	2.0	2.5
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われている。	2.3	2.5

課題や改善点

・資格、就職、キャンパスライフなどもっと活躍している学生を掲載して欲しいと感じます。また、入学検討者の保護者の方向け、高校生向け、高校教員向け、求人企業向けに貴校の学生に対する方針等をご案内情報として発信して欲しい。また教員の名前だけではなく特徴(最先端の知見を有する・・・など)の紹介、貴校の情報公開もホームページにあった方がよいと感じます。
・現在 IT に必要な授業が展開されておりますが、IT 企業で即戦力になる授業はそこまで多くないので、企業に入ってすぐ活躍出来る資格や授業内容が多くなれば、より就職率も向上することが可能と考えております。
・学生に期待される、「基礎的な技術修得の場」と「学生が卒業後に実際に働く現場」にギャップが存在することは、ある程度仕方がないことですが、貴校の学科専門科目は一定の間隔で新しい技術を取り入れることを望みます。
これから求められる「創造力」、「課題解決力」を持った人材の輩出が求められていますのでこの点を取り込んだカリキュラムも必要かと思います。業務システムの開発の場合は、プログラミングは一部に過ぎず、むしろその前提の要求定義を取りまとめるスキルが特に求められます。加えて運用マネジメントスキルも直接顧客との関りからシステム開発を行う場合は必要となります。このような授業はケースバイケースなため特別な授業として民間のシステムエンジニアを活用することも良いかもしれません。

(4) 教育成果

評価項目	自己評価	関係者評価
・就職率の向上が図られている。	3.3	4.0
・国家試験合格率の向上が図られている。	3.0	3.0
・退学率の低減が図られている。	3.0	3.5
・卒業後の生徒のフォローアップなされている。	3.0	3.0

課題や改善点

・就職先がIT業界以外の割合が多いのは淋しい。卒業後にどのような仕事を行い活躍しているかの情報発信があっても良いと感じます。入学検討者の保護者の方、高校生、高校教員に対し生徒の就職後のキャリアが見えて安心されると思います。

(5) 学生支援

評価項目	自己評価	関係者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生相談に関する体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生への経済的な支援体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生の健康管理を担う体制はある。	3.3	3.5
・学生への生活環境への支援は行われている。	3.3	4.0
・保護者と適切に連携している。	4.0	3.5
・卒業生への支援体制はある。	3.3	3.0

課題や改善点

・学生生活を少しでも良くするための施策(ウェルビーイング)についてより必要かと思います。自分の生きる道だけではなく、自分の住む街や学生の友達などとどのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて気付けることを目的とするようなこと。これは、社会人として職場で働く際にとても必要な「人間力」となります。学生生活をしっかり楽しむ多彩なイベントが催されていると思いますが、学校祭、各種レクリエーションなど自分の学校のみ対象とするのではなく、地域との関りを通して、仲間とひとつのことを成し遂げる達成感なども良いと考えます。心と体の健康を考え、例えば民間企業も行っているスポーツクラブと契約なども良いかもしれません。
※貴校の状況が判らない中、勝手な意見ばかりで申し訳ありません。

(6) 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。	3.3	3.0
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備している。	3.7	4.0
・防災に対する体制は整備されている。	3.7	3.5

課題や改善点

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	自己評価	関係者評価
・学生募集活動は適正に行われている。	4.0	3.5
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	4.0	4.0
・学費等納入金は妥当なものとなっている。	4.0	3.5

課題や改善点

・「教育目標」の実践に向けて入試等の選抜を検討する。

(8) 財務

評価項目	自己評価	関係者評価
・中期的に学校の財政基盤は安定している。	3.0	3.0
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	4.0	3.5
・財務について会計監査が適正に行われている。	4.0	4.0
・財務時報公開の体制整備はできている。	3.3	4.0

課題や改善点

（9） 地域社会貢献

評価項目	自己評価	関係者評価
・ボランティア活動を通じ、学生・教員が地域社会貢献を行っている。	2.7	3.0

課題や改善点

（10） 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされている。	3.7	4.0
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4.0	4.0
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	3.7	4.0
・学校自己評価結果を公開している。	3.7	4.0

課題や改善点

以上